

加古川駅周辺再整備基本計画策定等業務プロポーザル採点基準表

(1)事業者の評価 50点

評価項目		評価の視点	配点
事業者の実績及び能力	市街地再開発事業	元請(コンソーシアム等の構成員も可)として受注し、完了した市街地再開発事業の計画検討業務(施設計画、事業収支計画、権利変換計画のいずれか)の実績について、その経験等を活かすことが期待できるか。 ※内容や規模等から総合的に評価する。	20
	文化ホール	元請(コンソーシアム等の構成員も可)として受注し、完了した文化ホール(800席以上)の基本計画、基本設計、実施設計のいずれかの業務実績について、その経験等を活かすことが期待できるか。 ※内容や規模等から総合的に評価する。	
	図書館	元請(コンソーシアム等の構成員も可)として受注し、完了した図書館の基本計画、基本設計、実施設計いずれかの業務実績について、その経験等を活かすことが期待できるか。 ※内容や規模等から総合的に評価する。	
	駅前広場	元請(コンソーシアム等の構成員も可)として受注し、完了した駅前広場の基本設計、詳細設計いずれかの業務実績について、その経験等を活かすことが期待できるか。 ※内容や規模等から総合的に評価する。	
技術者の実績及び能力	管理技術者	管理技術者及び照査技術者、各計画検討を担当する技術者について、業務実績及び資格等の能力は十分であるか。	30
	照査技術者		
	市街地再開発事業		
	文化ホール		
	景観デザイン		
	駅前広場		

(2)企画提案の評価 100点

評価項目	評価の視点	配点
実施方針	業務目的及び内容等を適切に理解し、本業務の配慮すべき事項や地域特性を踏まえた実施方針であるか。	10
特定テーマ① 回遊性の向上及び 賑わい創出	駅周辺の各拠点の相互連携を図り、回遊性向上や賑わい創出に向けて、近隣の駅周辺との差別化を考慮しつつ地域特性を踏まえたうえで、駅前広場を回遊拠点とした駅周辺の活性化が期待できる取組みやプロセスに配慮した工夫があるか。	15
特定テーマ② 公共空間の活用	新たな市民会館(文化ホール)及び図書館等の複合施設と駅前広場の公共空間の活用について、景観デザインを重視し価値を高め連携した運用に関する取組みやプロセスに配慮した工夫があるか。	15
特定テーマ③ 事業の財源確保	再整備に係る市の財政負担を考慮したうえで、再整備全体の事業費及び市街地再開発事業の資金計画に関して、建設費の高騰等への対応や事業費の縮減、収入源の確保などの具体的な方策、整備後の維持管理やランニングコストに関する取組みやプロセスに配慮した工夫があるか。	15
工程計画	全体及び各年度の業務量を的確に把握し、実施方針を踏まえた適切な実施手順に基づく工程計画であるか。	10
業務体制	管理・指示系統が明確で、管理技術者と各担当技術者の相互連携が十分に図られ、提案書どおりの業務実施が可能な本業務に即した業務体制であるか。	10
独自提案 (テーマを設定)	駅周辺の賑わい創出に寄与する再整備について、以下の提案条件を踏まえつつ、「JR加古川駅周辺まちづくり(案)」にとどまらない実現性が高く効果的な提案であるか。 <提案条件> ・市街地再開発事業の想定区域は、仕様書中「市街地再開発事業検討地区」と同様とする。 ・公共施設の集約を図る(文化ホール及び図書館は、駅周辺への配置を必須とする)。 ・カピル21ビル及びサンライズ加古川ビルは建て替える。	15
経済性	(最低見積価格÷提案者の見積価格)×10点 ※小数点第2位以下を切り捨て	10